

当金庫職員の「氷見市行政実務研修員」としての派遣について

氷見伏木信用金庫は、地方創生に向けた公民連携による取組みの一環として、当金庫職員を「氷見市行政実務研修員」として氷見市へ派遣しました。

併せて氷見市と「行政実務研修の実施に関する協定」を締結しました。

これにより、氷見市と一層の連携・協力を行うことで、「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進し、地方創生の実現に向けて取り組んでまいります。

目的

職員を「氷見市行政実務研修員」として派遣することにより、職員の資質の向上と市政への民間活力の導入を図り、地域課題の解決に取り組むことを目的とする。

内容

- (1) 配属先 氷見市産業振興部 商工観光課
- (2) 研修内容 まちのにぎわいづくり及び着地型観光商品の開発
- (3) 派遣者数 3名
- (4) 派遣期間

1人目	平成30年10月1日～平成30年12月28日
2人目	平成31年1月4日～平成31年3月29日
3人目	平成31年4月1日～平成31年6月28日

協定締結日

平成30年10月1日



氷見市役所 B棟2階センターにて林氷見市長と握手する藤井理事長